

構想から計画へ。

新アリーナが拓く
スポーツタウン府中の未来



10月に豊田市と刈谷市の体育館を視察

このページの音声コード
Uni-Voiceアプリで聴くことができます



※イメージ画像です

事業の詳細▼


議会報告
高齢者のスマホ購入で
最大3万円を助成
令和7年度 府中市高齢者スマートフォン購入助成
スマホで広がる暮らしの楽しさ



府中市では、65歳以上の方が初めてスマートフォンを購入する際、費用の一部（上限3万円）を助成する事業を実施しています。対象は、市内在住でスマホを初めて持つ方で、スマホ本体に加え、充電器や契約時の事務手数料なども助成対象となります。市内の登録店舗で購入し、スマホ教室の受講や東京都公式アプリの新規登録などが要件です。申請期限は令和8年2月末までですが、予算に達し次第終了となります。また、その後もスマホを活用した介護予防アプリ「みんチャレ」を使った講座もありますし、将来はポイ

ント付など様々なサービスも受けられます。
お問い合わせは府中市高齢者支援課 ☎042-335-4117
ご家族などがサポートされる場合は上記二次元バーコードからも詳細ご確認いただけます。ぜひご活用ください。

議会報告
下水道使用料の見直し
10月から値上げへ
市議会で条例の一部改正が可決
全国で最も安いと言われる府中市も
将来に備えるために判断



府中市では、下水道料金を改定する条例の一部改正案が、12月の市議会で可決されました。今回の見直しは、下水道事業を将来にわたり安定して継続するため、28年ぶりの値上げ改定となり、10月から実施されます。

市内の下水道施設は整備から長い年月が経過し、老朽化や物価上昇に伴う維持管理費の増加などに加え、4月から東京都に支出している流域下水道維持管理負担金の増額が見込まれ、現在の使用料では賄いきれなくなります。

今回の料金改定は将来世代への負担を残さず、必要な投資を計画的に進めるための判断であり、市議会としても、事業の効率化や市民への丁寧な説明を求めつつ、持続可能な下水道運営の観点から結論を出しました。

なお、4~9月までの上昇分については市の負担となります。

◎2ヶ月で47立方mを使用した場合、

変更前：基本使用料532円+20立方m×従量使用料56円+7立方m×従量使用料76円=2,184円(税抜)

変更後：基本使用料532円+20立方m×従量使用料63円+7立方m×従量使用料86円=2,394円(税抜)

計算例

駆ける、2026年。

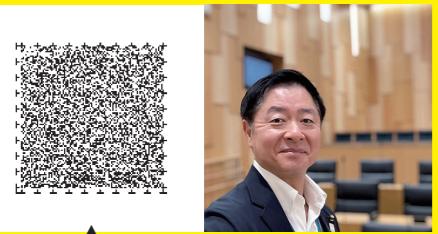
2026年が開幕。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。午年にちなみ、今年のテーマは「駆ける、2026年」と掲げました。さて、年が明けても空前の物価高は留まる事を知りません。そんな中、国においては今年度の補正予算が成立しました。12月からガソリン暫定税率廃止、1~3月の電気・ガス代補助、子育て応援手当1人2万円給付、医療・介護従事者などの賃上げ、自治体で使途を決める重点支援地方交付金（府中市は13億円くらい？）等、多くの物価高対策が実施されますが、特に収入が限られる年金生活者などや提供価格に反映しづらい業種の個人事業者など大変な状況の方々がいらっしゃいます。こうした方々の声をお聞きしながら國に届けるのも私たち地方議員の役割です。地域を駆け回る1年にしてまいります。



府中市議会議員 西村りく
連絡先: 070-5554-0060 / riku@komeifuchu.net



SNS ホームページ ブログは
こちら。フォローお願いします☆



このページの音声コード
Uni-Voiceアプリで聴くことができます

プロスポーツと市民スポーツの両立

基本構想案では、このまちの誇り、スポーツタウンの未来を拓く多機能アリーナを基本理念に掲げています。

市は、メインアリーナを5000席規模でトップリーグにも対応できる“みる”スポーツの拠点としながら、子どもから高齢者、障がいのある方などあらゆる世代が利用できる施設をめざす、と答弁しました。また、体育館単体ではなく、公園と一緒に整備することで、日常的なスポーツ、交流、賑わい、防災といった多様な機能を持つエリアへ発展させていく考えも確認できました。

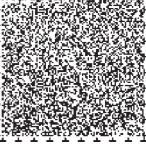
 YouTubeで配信中☆
現地映像を交えた解説動画を配信しています。

8年後のオープンめざして

その上で、市民利用を軸とした運営が守られるのか、収益事業とのバランス、高齢者やパラスポーツ関係者の声が今後どう反映されるのか、さらに小金井街道をはじめとする周辺の交通課題や歩行空間の安全性・快適性についても質問しました。来年度から着手する基本計画は、構想を現実のものとする重要な段階です。



令和15年度(2033年)供用開始をめざし、府中らしい魅力を大切にしながら、市民に長く愛される新体育館とエリア全体の開発が進むよう、引き続き取り組みます。



このページの音声コード
Uni-Voiceアプリで聴くことができます



12/02

デザインの力で、市政課題の解決を 大学生との共創で新たな提案のかたち

令和7年第4回定例会／一般質問【2件目】

一般質問の動画▶



明星大学デザイン学部と府中市が連携して取り組んだ「府中活性化プロジェクト2025」を取り上げ、市政課題にデザインの力をどう活かすかを問い合わせました。テーマは、外国人住民へのごみ分別の理解促進、介護職員の人材確保、若年層への栄養啓発、ファミリーサポートセンター会員数の増加、自治会加入率の向上という、いずれも現場で頭を悩ませてきた課題です。学生達は約4か月にわたり、市職員や利用者へのヒアリングを重ね、紙面・動画・キャラクターなど多様な表現

手法を用いた提案を行いました。行政職員からは「思いつかなかった視点」「そのまま使えるクオリティ」といった評価もあり、実際にごみ分別周知や介護職の魅力発信など、事業に活かされ始めた例も出ています。私は、言葉や理屈だけでは解決できない課題にこそデザインの力、またデザイン的思考が有効であると考え、今回の取り組みを踏まえて今後も美術系大学やクリエイターとの連携を継続するとともに、府中市の人材として採用することも視野に入れていくよう提案しました。



09/02

介護人材の確保と育成と定着に向けて 見つけ、育て、支えるために

令和7年第3回定例会／一般質問【1件目】

一般質問の動画▶



超高齢社会を迎える府中市にとって喫緊の課題である「介護人材の確保・育成・定着」をテーマに取り上げました。団塊世代が後期高齢者となる中、介護サービスの需要は一層高まっていますが、現場では慢性的な人手不足やヘルパーの高齢化が続いています。市のアンケート調査でも、特に訪問系サービスの人材不足が深刻で、待遇改善や職場環境の向上を求める声が多く寄せられているとのことでした。私からは、国や東京都の施策に加え、府中市として現場の声をどう補完し支えて

いくのかを問い合わせ、市独自の研修費助成や事務手続きのデジタル化、ICT活用などの取組を確認しました。さらに将来を見据え、人材育成センターの設置や、短時間・単発で働くスポットワークの活用といった新たな提案も行いました。介護の仕事に関心のある方や、資格を持ちながら現場を離れている方が、再び一步を踏み出せる環境づくりが重要です。介護は誰にとっても身近な問題。引き続き、現場で働く人を見つけ、育て、支えるための具体的な取組を前に進めます。



09/02

緊急時の負傷者などの搬送をより安全に もしもの時の搬送力を考える

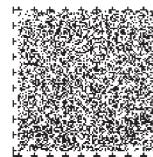
令和7年第3回定例会／一般質問【2件目】

一般質問の動画▶



災害や事故などの緊急時に、負傷者をいかに安全に搬送できるかという「命を守る備え」について取り上げました。担架は最も身近な救助用具ですが、実際に使ってみると重く不安定で、訓練を受けていない一般市民が扱うのは容易ではありません。市の調査では、公共施設205施設のうち担架は77施設に117台、ストレッチャーは6施設7台という状況とともに、防災訓練で担架搬送を行う機会も極めて限定期的であることがわかりました。

そこで、特に災害時や大規模事故では、少人数でも安全に搬送できる資機材の必要性を訴え、海外で活用されている「引いて運ぶ」タイプの搬送用具など、新たな選択肢にも目を向けるべきと提案しました。併せて、避難所となる学校や福祉施設、多層階の公共施設では、ストレッチャー対応エレベーターの重要性も指摘。市からは、新築・改築時には施設特性を踏まえ対応を進めているとの答弁がありました。もしもに備えた具体的な準備を、今後も粘り強く求めています。

このページの音声コード
Uni-Voiceアプリで聴くことができます

実績報告

防犯対策、 今こそ“わが家から” 最大2万円助成で安心をプラス！

申込み詳細▲

都議会公明党と連携し、府中市でも実施へ



都議会公明党が推進してきた防犯強化の取組みを受け、公明府中が予算要望や議会質問などで重ねて訴え、府中市でも防犯機器等導入助成が実現しました。防犯カメラや補助錠、センサーライトなどの設置費用に最大2万円・2分の1を助成。わが家の防犯力を高め、地域の安全につなげましょう。申請は令和8年1月30日（金）までです。お急ぎを。詳細は市ホームページをご覧ください。

実績報告

モビリティトイレ、 府中市が導入

いざという時、被災地へ駆けつけるトイレ
被災地のトイレ課題を自治体の助け合いで



9月7日、けやき並木で行われた府中市総合防災訓練で、党としても全国で推進し、公明府中も令和6年1月から導入を訴え、予算化されていたモビリティトイレ（トイレカー）が、この日いよいよデビューしました。災害派遣トイレネットワークプロジェクト（助けあいジャパン）にも加入し、いざという時に被災地へ駆けつけます。

会派報告

来年度予算に向けて 皆さまからの声を届けます 各分野・業界の声+市民の声+市政課題 ヒアリング実施～市長への予算要望書提出へ

公明府中議員団は9月、令和8年度府中市予算に向けた政策懇談会を開催し、都市整備、子育て、土業、福祉、組合など各分野の13団体から様々な問題提起や要望が寄せられました。これまで議会で取り上げてきたテーマや日頃の市民相談などで寄せられた課題等も併せて



191項目からなる令和8年度予算編成に関する要望書を10月27日に高野律雄市長へ提出しました。



市民の声から

公園にかまどベンチを設置 町会の防災訓練の炊き出しでデビュー

防災訓練を積極的に行なう町会の声から
地域公園への設置を要望



11月、紅葉丘の3町会合同防災訓練が紅葉丘第2地域公園で開催され、新たに設置した防災かまどベンチが炊き出しで活用されました。このベンチは、町会の方の声を受けて市へ要望し、設置が実現したもので、防災訓練で実際に使用するために設置したケースは市内でも初めてとのことです。

市民の声から

交通事故を防ぐために 創意工夫で明るさアップほか市民要望2件

- ①紅葉丘1丁目の四叉路
- ②朝日町2丁目の踏切付近の十字路

①紅葉丘1丁目にある変則的な四叉路は近くに保育園もあり、出会い頭の事故が心配との声をいただきました。路面表示もほとんど消え、カラー舗装のみの状態だったことから「ひと工夫を」と要望し、大胆な路面表示が施工されました。



②朝日町2丁目の西武多摩川線踏切近くの十字路は、以前は飛び出し抑止と車両侵入を防ぐ柵がありました。事情により撤去され、交通安全面から心配の声が多数上がっていました。これを受けて市へ要請していたところ、このほど、児童にもわかりやすく、車両からも視認性の高い路面表示が施工されました。



市民の皆さまのご意見やお困りごとなどあれば、お気軽に寄せください☆

このページの音声コード
Uni-Voiceアプリで聴くことができます